

ボランティア ビューロー だより

第96号

2019. 7. 25発行

.....お知らせ.....

- ※ 令和元年（2019）年度 ビューロー南 行事予定
- ・ 10月18日（金） ボランティア登録者視察研修会
 - ・ 2月28日（金） ボランティア登録者交流会

- ※ビューロー南では車椅子の貸し出しを行っております。
- ・ 使用する方が市内在住であること。
 - ・ 期間は年間通して最長3か月まで。無料です。
- 詳しくはビューロー南までお問い合わせください。

ボランティア登録者募集

ボランティア活動に興味のある方、私達と一緒に活動してみませんか。

ボランティアは1回1時間程度の活動から参加できます。

特に資格など必要ありません。

活動の場は、おもに老人介護施設です。

現在の登録活動内容としては、コーラス・フラダンス・日本舞踊・楽器演奏等の音楽関係から、絵画・手芸・書道・マジック・将棋・囲碁・傾聴等多種多様。

その他、託児、施設や社会福祉協議会の行事支援、森林・樹木の保護活動支援、災害支援等。

ボランティア活動に興味のある方【ボランティアビューロー南】へお問い合わせ下さい。

皆様の登録をお待ちしております。



川越市社協のキャラクター
の
福っくらちゃん

=経過報告=

H31.4.1~R1.6.30

ボランティア登録者（個人）	59名
ボランティア登録者（団体）	37団体
ボランティア派遣者（延べ人数）	644名
車椅子貸し出し	1件

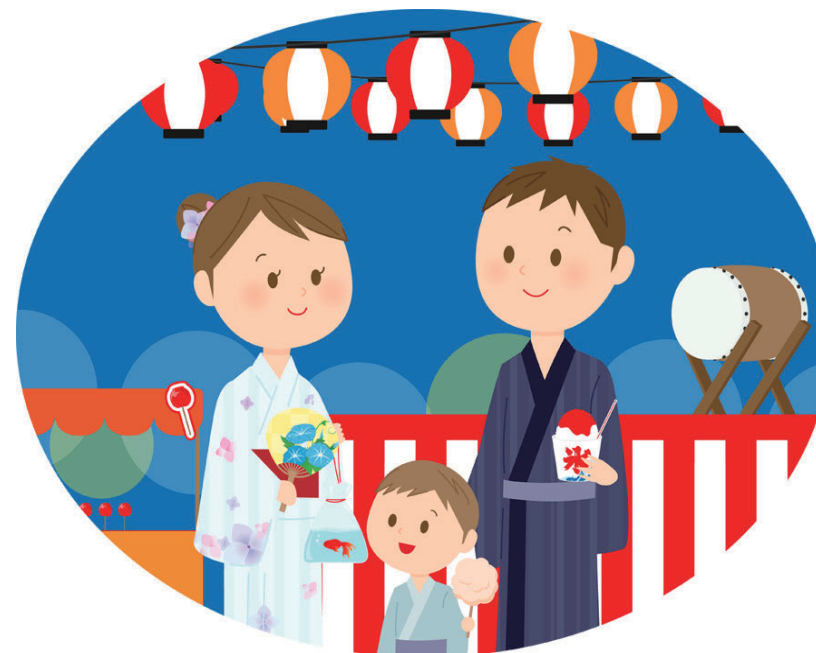
※上記以外にも多くの方が定期ボランティアとして活動されています。

ボランティアビューロー南

〒350-1151 川越市今福1295-2

川越南文化会館内（電話・FAX 248-0737）

開室日：月・水・土曜日 午前10時～午後3時



社会福祉法人川越市社会福祉協議会

ボランティアビューロー南（川越南文化会館内）

令和元年度 施設様とアドバイザーとの意見交換会

6月28日(金)15:00より、川越南文化会館 創作室に於いて
8施設のボランティア担当者と、社会福祉協議会事務局1名、アドバイザー5名の出席で開催致しました。

平成31年2月のボランティア交流会に於いて、いただいた意見を施設様に伝えました。

3施設の方々が「4月から新担当者になり、分らないこと、知らないことが多かったので出席して良かった。」「ボランティアさんに施設に来てもらいありがたい。」等の意見がありました。

又、ボランティアの方の高齢化に伴い、送迎の要望がある事を伝えたら、「出来る」「検討してみる」と前向きな意見を頂きました。

これからも施設様、ボランティアの方々、アドバイザーとの関係を一層密にしていきたいと思いをしました。

ボランティアの皆様との共通点

親愛南の里 佐藤 舞



日頃お世話になっております。

社会福祉法人親愛会 障害者支援施設「親愛南の里」佐藤 舞と申します。

今年度からボランティア担当として、利用者様とボランティアの皆様を繋ぐお手伝いをさせていただいております。よろしくお願い致します。

さて、先日、初めてアドバイザーとの意見交換会に参加させていただきました。

日頃交流を持つことがない施設の職員様や、いつもお世話になっているビューロー南の皆様にお会いすることが出来、また、充実したお話をお聞きすることが出来、大変嬉しく思いました。

お話を交わす中で私が印象的だったのは、「ボランティアの皆様は利用者様が笑顔になってくれたらそれでとても充実した気持ちになります」というお言葉でした。

この言葉を聞いた時、私たちのような福祉職に従事しているものと同じだと感じました。私たちも、利用者様にサービスを提供する日々の中で、利用者様の笑顔が見られると、それだけで嬉しく、また、やりがいを感じます。ボランティアの皆様と施設職員という立場の違いはあるかと思いますが、施設利用者の皆様の喜びこそが活動の原動力である点は同じだと実感しました。

今後もボランティアの皆様が施設で気持ちよく活動して頂けるよう、一施設職員として全力でサポートしていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

ボランティア活動に感謝

エクラシア川越藤間 尾形 輝

日頃はボランティアビューロー南様を通じてボランティア依頼の担当をしています。当施設では月2回程ボランティアさんにお越しいただき、これまで楽器演奏や舞踊、マジックなどお願いしてきました。福祉施設は弊社も含め、どこも限られた人数の中で利用者様に体操やレクなどを日々試行錯誤しながら行っているのが現状です。

そうした中、ボランティアさんの存在は大きく、利用者様にも大変喜んでいただいております。有り難く思っております。ハーモニカ演奏の時は一緒に歌謡曲や唱歌を懐かしく思い歌ったり、折り紙やバルーンアートの時は同席の方と見比べたり、笑顔も多く見られました。作品を部屋に持ち帰って飾っている方も多くいらっしゃいます。先日、意見交換会に参加して施設の意見として述べさせていただきました。

公休で実際見れない日は、翌日他の職員にボランティアさんどうでしたか？利用者様の様子は？と聞くようにしています。利用者様から面白かったよ。楽しかったよ。また呼んでくださいね。と言ってもらい、ボランティアの皆様にもエクラシアに来てよかったと思えるよう自分もしっかり仕事をしていきたいと思いをしています。

最後にボランティアの皆様、ビューロー南のアドバイザー、事務局の方々にもお世話になっており有難うございます。この場をお借りしてお礼申し上げます。今後共宜しくお願い致します。

福祉にかかわるシンボルマーク

盲人の為の国際シンボルマーク

「内閣府ホームページより抜粋」



世界盲人連合で1984年に制定された盲人のための世界共通のマークです。視覚障害者の安全やバリアフリーに考慮された建物、設備、機器などに付けられています。信号機や国際点字郵便物・書籍などで身近に見かけるマークです。

このマークを見かけた場合には、視覚障害者の利用への配慮について、御理解、御協力をお願いします

「白杖 SOS シグナル」
普及啓発シンボルマーク

白杖を頭上50cm程度に掲げてSOSのシグナルを示している視覚に障害のある人を見かけたら、進んで声をかけて支援しようという「白杖SOSシグナル」運動の普及啓発シンボルマークです。

白杖によるSOSのシグナルを見かけたら、進んで声をかけ、困っていることなどを聞き、サポートをしてください。

※駅のホームや路上などで視覚に障害のある人が危険に遭遇しそうな場合は、白杖によりSOSのシグナルを示していなくても、声をかけてサポートをしてください。

